



奈建第9号
平成19年4月26日

国土交通省道路局長 殿

岡山県勝田郡奈義町長 花房 昭



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について (回答)

地域住民の生活基盤である本町を横断する国道53号の維持管理及び改良工事の採択につきまして、特段のご配慮を賜り誠にありがとうございます。

平成19年4月2日付け、国道企第114号をもって依頼のありましたことについて別紙のとおり回答しますので、よろしくお取り計らいください。

- 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

地方圏でも中心となる街では、昼間は渋滞が慢性的にある。CO2 削減のことなども考慮すると、渋滞の解消・緩和を図る必要がある。具体的には、交差点の改良・陸橋等で車の流れをスムーズにすることが必要である。

片側一車線の主要な国道等は、その殆どの区間で追い越し規制が設けられている。今後高齢化が進んでいくと、高齢者の車が増え後続車は目的地への到着時間が遅れていくことや、運転手にストレスが溜まって社会問題化することが懸念される。そこで、一定間隔に追い越しレーンの設置が必要である。

高齢化に向かうなかで、医療・福祉についてその需要の増加が見込まれるが、それらの中核施設には、ゆとりのあるアクセス道が必要である。

高規格道路等主要な路線では、工事着手すると早期の完成に努めていただきたい。一部分が開通してもほとんど恩恵を受けることはできない。

- 効率化を進める上で重視すべきこと

ETC 積載車については朝夕 100 キロ以内で通行料が半額になるようであるが、地方の交通量の少ない高速道路では、たとえば最初の 1 区間に限り 100 円で通行が出来るようにすれば、市街地の渋滞解消につながり、地価等高い部分の投資の削減につながる。

- その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

高速道路等の法面のうち、ある程度延長の長い部分については、温暖化対策や景観のため、中木等の植栽を行いたい。セイタカアワダチ草のようなものが目立つのではなく、地域住民や運転者にも歓迎されることと考える。

これからの道路政策では、維持管理への支出を検討していただきたい。古くなった橋梁、磨耗した路面等地方単独での維持管理は限界がある。